

令和 8 (2026) 年度「オールとちぎ移住・しごとフェア」業務委託 公募型プロポーザル審査要領

第 1 目的

令和 8 (2026) 年度「オールとちぎ移住・しごとフェア」業務の委託契約候補者を公募型プロポーザル方式により選定するに当たり、提出された企画提案書を適正に評価するため、公募型プロポーザル審査要領を定める。

第 2 審査会の設置

企画提案書の審査を行うため、令和 8 (2026) 年度「オールとちぎ移住・しごとフェア」業務委託公募型プロポーザル審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

1 構成

- (1) 審査会に委員を置き、別表 1 に掲げる者で構成する。
- (2) 審査会に会長を置く。なお会長は、総合政策部地域振興課長の職にある者をもって充てる。
- (3) 会長は、会務を総括する。

2 運営

- (1) 審査会は、会長が召集する。
- (2) 会長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- (3) 審査会は、会長を含む 4 名以上の委員が出席して開催するものとする。
- (4) 会長は、各委員の審査結果に基づき、委託契約候補者を選定する。
- (5) 審査会は、非公開とする。

3 守秘義務

会長及び委員は、審査会で知り得た秘密を漏らしてはならない。

第 3 審査

企画提案書の審査及び委託契約候補者の選定は、次の方法により行う。

- (1) 企画提案書の審査は、企画提案書の記載内容をもとに、別表 2 に規定する審査項目ごとに評価を行い採点する。
- (2) 委員が行った採点の合計を、評価点とする。
- (3) (2) により算出した評価点をもって、点数の高い者から順に、委員ごとに提案者の順位付けを行い、全ての企画提案者の中で、最も多くの委員が 1 位とした者を委託契約候補者とする。なお、最も多くの委員が 1 位とした者が複数の場合は、各委員の評価点の合計が最も高い者を委託契約候補者とする。
- (4) 前項の規定にかかわらず、各委員の評価点の平均が 60 点以上である場合に限り、委託契約候補者とする。

第 4 その他

この要領に定めるもののほか、審査に関し必要な事項は会長が定める。

附則

この要領は、令和 8 (2026) 年度の事業において適用する。

(別表 1 審査会の構成)

所属		役職	備考
総合政策部	地域振興課	課長	会長
		課長補佐(総括)	
		地域振興・とちぎ暮らし推進担当 副主幹(GL)	
生活文化スポーツ部	県民協働推進課	青少年応援室(結婚支援) 主査(TL)	
産業労働観光部	労働政策課	雇用対策担当 課長補佐(GL)	

(別表 2 審査項目)

区分			審査項目	配点
1	総論	(1)	社会背景や本県の現状・特性を踏まえ、本事業の業務目的及び業務内容を十分に理解しているか。事業目的を達成するための考え方・コンセプトが明確であるか	5
2	企画	(2)	メインターゲットに訴求力のある企画内容か ・集客目標の達成につながる工夫や、魅力的なイベントの企画 ・移住希望者のニーズ(暮らし、しごと等)を捉えたセミナーやプログラム ・魅力的な体験コーナー等、来場者の増加につながる企画 等	20
		(3)	仕様書にて求められる内容以上の提案があり、かつ業務目的達成に有効な手段となっているか	10
		(4)	フェア全体の回遊性を高めるレイアウトや企画の工夫が示されているか	10
		(5)	集客が期待できる効果的な広報施策が提案されているか	15
		(6)	自治体及び企業・団体等向け研修会は効果的な内容となっているか	10
3	組織体制 及び 計画実現性	(7)	フェアの企画調整全般、当日の運営等に係る十分な実施体制が示されているか	10
		(8)	業務遂行可能な計画(企画の進め方)であるか	10
		(9)	過去の実績から事業の成功を予見する組織と認められるか	5
4	経費の積算	(10)	積算が予算の範囲内であり、内容等が妥当か	5
合計				100